

久米小学校だより

地域回覧

2024. 7. 19(金)

学校ホームページはこちらから

<http://www.kuwana-c.ed.jp/kume>



学校は7月20日から8月31日まで43日間の夏休みに入ります。夏休み期間中の子ども達の生活については、学校でも終業式に話をし、各家庭にも「夏休みの生活について」という文書を配布し子ども達との確認をお願いしていますが、夏休み特有の解放感もあって地域の中で気になる姿を見かけることがあるかもしれません。そんな場面を見かけた場合は、地域の方から言葉をかけていただくとともに、学校にお知らせいただくとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。なお、学校は次の期間を学校閉鎖期間としていて不在になりますのでご了承ください。

2024年8月10日(土)～8月16日(金) (10日は久米地区納涼盆踊りです)

1 学期の様子

子どもたちは多くのことを体験し、考え、学びました。この4ヶ月弱の間に、子どもたちはずいぶん成長したと思います。授業の様子を見に行くと、4月当初に比べて授業規律や学びの姿勢、行事への取り組みなど、いい笑顔で意欲的に取り組む子どもたちの姿をたくさん見せてもらいました。先日の全校分団集会では、顔を上げてしっかり分団担当教員の話の聴き、その後の分団ごとの話し合いでは、今の課題や改善方法についてしっかり考えることができました。

また、生活科や総合的な学習の時間を大切にしている、特に「地域」を意識した学習内容を工夫して実践しています。実際に多くの学年が地域へ出ていきいろいろなことを発見したり考えたりしてきました。お気づきの方もみえると思いますが、今年も登下校時に虫かごを抱えて歩いている子どもが多いと思います。これも学習の一環です。2学期以降も続けていきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

久米小で大切にしていること

「学校は何をすところか」と子どもたちに聞くと、多くの子が「勉強すところ」と答えます。間違いではありませんが、「勉強」という言葉が近年「学ぶ」という言葉に置き換わってきています。今や学校は「学ぶところ」だと言えます。大事なことは言葉の違いではなく、学校は、子どもたちが主体的に、何をどう学び、学んだことを自分の人生にどう活かしていくかということ。「自分ごとにして考える場」にシフトしていかなければならないということだと思います。

今年度の学校教育目標は「豊かな未来を切り拓く『自己決定力』の育成」です。この10年だけを考えても、世界は多くの「想定外」に翻弄されました。この先の10年も多くの想定外のことが起こると予想されます。社会がどのように変化しようとも、子どもたちがよりよく社会を生きていくために、久米小では「自己決定力の育成」を大切にしています。「周りの誰かに何かを言われて動く」のではなく、自分で考えて、自分で決めて、自分の判断で動く人になってほしいと思います。そのため学校では「3つの言葉がけ」を意識しています。①「どうしたの？」②「あなたはどうしたいの？」③「何か手伝えることはある？」の3つです。子どもが迷うようなときは、いくつかの選択肢を示すこともありますが、できるだけ「自分で決める」機会をつくるようにしています。自己決定力の育成は「生きる力の育成」につながります。読み・書き・計算などの学力の定着ももちろん大事です。でも、数値では表すことができない「見えない学力」(人を大切にする力・自分の考えを持つ力・自分の考えを表現する力・チャレンジする力)の育成も大事です。そのための「自己決定力の育成」です。周りの大人が、自らの経験則から「子どもが失敗しないように」と教えるのではなく、「自分で決める」ことを促し、「待つ」ことも大事だと思います。ご理解ご協力いただくと幸いです。